



大歩危駅のきれいな紅葉

My Life in Tokushima

徳島の思い出



留学生
滞在記

医科学教育部 博士課程 4年

Dolgorsuren Enkh-Amgalan (ドルゴルスレン・エンヘアムガラン) [モンゴル]

モンゴル出身のドルゴルスレン・エンヘアムガランと申します。徳島大学医科学教育部博士課程の4年生で、専門は放射線医学分野です。9年前にモンゴル国立医科大学を卒業して医者になり、その後日本に来ました。日本での生活はとても楽しいです。研究室の先生方からいろいろな経験をお聞きし、研究のことや日本の文化についても教えていただいています。また、阿波踊りや徳島の名所に連れて行っていただき、本当に幸せな時間を過ごしています。昨年、研究室の先生と留学生と一緒に

大歩危に行き、かざら橋や美しい自然を見て、感動しました。途中で学校のようなカフェに立ち寄り、おいしいピザを食べたりコーヒーを飲んだりしました。私は国際センターの日本語研修コースで日本語を勉強しましたが、そのとき着物のスタジオで初めて着物を着ました。着物を着るのはとても難しかったですが、一度着てみると思っていたので本当にうれしかったです。2018年4月からロータリー米山奨学金をいただいています。ロータリークラブには様々な

分野で働いている方々がおられます。その方々と例会や地区大会でお話する機会があり、医学だけではなくいろいろな知識を得ることができています。日本語のレベルも上がりますし、日本の文化を知ることができ、ロータリークラブでのひとときは徳島での楽しくて貴重な時間のひとつです。日本へ来る前はモンゴルの国立癌センターで働いていました。来年、徳島大学を修了したあと、そこで引き続き働く予定です。モンゴルの医学界は、放射線分野において日本のような先進国で新しい

技術を学んだ多くの専門家を必要としています。日本で学ぶことのできる放射線分野のテクニカルプログラムは最新で、診療においても世界一なので、私の知識と技術は日を追うごとに進歩しているように感じます。大学では周りの研究者たちから学び、協力もしながら勉強しています。自分の目標を実現させるために、そして腕のいい医者になれるように、今一生懸命勉強をしたり研究をしたりしています。モンゴルへ帰っても、徳島での楽しくて充実した生活を忘れることはないでしょう。



研究室の先生と一緒に(筆者右側)。



初めての着物。

ロータリークラブのカウンセラーと一緒に(筆者左側)。



初めての留学

生物資源産業学部 生物資源産業学科 2年

小宮 悠生 (こみや ゆうき)



海外
体験記

私は、2018年2月末から約一ヶ月間ニュージーランドのオークランド大学で行われた語学研修に行ってきました。オークランドはニュージーランド最大の都市で、食、音楽、ファッションなどのエンターテインメントが充実しています。それだけでなく、美しい海とのかな島々、たくさんの火山などの自然も十分に満喫することが出来る街です。気候が良く治安も良いため暮らしやすい雰囲気でした。また、ニュージーランドは人種のるつぼと言われている通り、たくさんの人種の方がいきました。私のホームステイ先の家もアラビア系でした。

オークランド大学は、国内で最も規模の大きい大学であり、幅広いコースで国内外からの学生を集め世界各地から留学生の受け入れを積極的に行っている大学です。今回行ったオークランド大学イングリッシュランゲージアカデミー(ELA)はオークランド大学附属の語学学校で、英語プログラム

の質が高いだけでなくアクティビティも定期的に実施されていて、楽しくしつかり英語を学べる環境が整っていました。各々の英語のレベルに合わせてたくさんのクラスがあり、1クラス約20人でした。クラスには日本人だけでなく韓国人や中国人、フランス人、コロンビア人などの様々な国の人たちがいて、他国の文化も知ることができ、たくさんの友達ができました。授業は文法の授業とコミュニケー

ションの授業がありました。どちらの授業もペアまたはグループでのディスカッションが多く、発言をする機会がたくさんありました。授業時間外では、英語のスキルを向上することができるワークショップがありました。私は、午後からの授業だったので午前中はホストファミリーと過ごしたり、友人とワークショップで映画を見たり観光地に行くなどしていました。授業以外の普段の生活もとても楽しかったです。授業のない日は徳島大学の友人だけでなくELAで知り合った友人と色々な場所に行くことができました。ホストファミリーからはサプライズで誕生日を祝ってもらいまし



ホストファミリーと。



徳大のみんなと。



学校帰り。



ワイヘキ島で。



学校のみならず。